



日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920(大正9年)10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,224、会員数83,993人(2023年3月末現在)となっています。

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を實踐すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか



RIテーマ

世界に希望を生み出そう

2023～2024年度
国際ロータリー会長

ゴードンR.マッキナリー

ロータリー会員として今ほど素晴らしいときではないでしょう。私たちはロータリーで素晴らしく歴史的な年度の真ただ中にいます。正直なところ、この年度を早く終わらせたいと思う人はいないでしょう。

ですから、終わらせるのではなく、新しいはじまりを作りだそうではありませんか。年度の扉を閉めるのではなく、次年度への橋を築こうではありませんか。なぜなら、川が流れているなら、それを渡る方法があればありがたいからです。

私はかつて毎日、エディンバラにある私の歯科医院に車で通勤し、フォース川にかかるいくつかの有名な橋を通りすぎるときに、その例を目にしていました。これらの橋をご存知の方もおられると思いますが、これらは見事なエンジニアリングの象徴です。

フォース鉄道橋は、1890年に開通しました。

フォース道路橋は1964年、最近ではクイーンズフェリークロッシング橋が2017年に開通しました。フォース橋の鉄道橋と道路橋を見ていつも感動するのは、これらがビジョンをもつ人たちによって建てられたということです。それは、決して会うことのない人たちのためのビジョン、決して知り合うことのない人たちのためのビジョン、それによって生活が改善される人たちのためのビジョンです。そのビジョンは、フォース橋の場合のように、建設から133年経った後も、利用者たちからありがたがられています。ロータリーの私たちのビジョンが、奉仕を受ける人たちからありがたがられているように。

今、ご自分の頭の中で橋のロゴを思い浮かべ、それがテーマと関連しているだろうと思っている方がいたら、そこでその考えをやめてください。たとえ話がすべてテーマであるわけではありません。同じように、次年度に皆さんが行うすべてのことが、これから発表するテーマの推進と支援にかかわるわけではありません。

私たちは、絶妙なタイミングでリーダーシップの手綱を渡されました。今は歴史的なときであり、ロータリーが世界の注目を集め、現在の期待をはるかに超えた可能性への道を示す機会が訪れています。しかし、私たちの最も優れた仕事のいくつかは、ほかの人たちの継続的な取り組みをサポートすることであるかもしれません。ジョーンズ会長とほかのロータリーリーダーたちが始めたことを土台として、今後さらに大きな成果が成し遂げられるようにしていきましょう。これからの私の仕事、そしてすべてのロータリーリーダーの仕事の多くにおいては、継続が重要となります。

継続とは、以前のリーダーたちのよいアイデアを前進させることを意味します。

私たちは詩人マヤ・アンジェロウの次の言葉からインスピレーションを得るべきです。「続けましょう／自分らしくあるために／思いやりある行いで／不親切な世界をあっと言わせるために」

過去数年間、ローターアクトに力を与えると約束し、それを実行してきたロータリー会長たちの継続へのコミットメントを、私たちは目にしてきました。その結果は驚くべきものです。ローター

アクターたちは引き続き、ロータリーで全面的なパートナーとなるだけでなく、リーダーとなることへの熱意を示すことで、私たちに勇気づけています。ロータリークラブとローターアクトクラブが互いに協力し、支えあう新しい方法を見つけ続けられるかどうかは、私たちにかかっています。

継続のもう一つの優れた例に、女兒のエンパワメントがあります。ジョーンズ会長は、メータ会長のプログラムを継続することでこの素晴らしい模範を示しました。この取り組みは、多くの点でロータリーが長年積み重ねてきたものであり、メータ会長がそれに名をつけて拡大させたのです。私の孫娘アイビーとフローレンスのように、世界中の少女が強く、十分な能力を身につけた女性へと成長できるよう支援するために、私はこれらの会長の仕事を引き継いでいくことを明確にしました。

私はまた、すべての行いにおいて多様性、公平さ、インクルージョンを促進するためにロータリーが遂げてきたすべての進歩を全面的にサポートしたいと考えています。会員数は非常に重要ですが、DEIを全面的にサポートすることは、単に会員数を増やすことを意味するわけではありません。DEIの最も重要な側面は、ロータリーを、どこからであれ最高の人材、最高のアイデア、最高のパートナーシップを受け入れるオープンでインクルーシブな組織にすることです。人びとがロータリーを見たとき、そこに自分自身を見ることができる必要があります。そうなることができるかどうかは、私たち次第です。

継続にはほかにも二つの側面があり、それらは皆さんの活動にとって極めて重要となります。一つ目は、ポリオです。ポリオの根絶が依然としてロータリーの最優先事項であることはご存知だと思います。「ポリオのない世界」という夢を追い続け、多くのことを成し遂げてきたこの35年間で、私たちは誇りとすることができます。

根絶の実現にどれだけ近づいているか、ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの上乗せを全額得るために最低5,000万ドルを集めることがいかに重要であるかを毎年繰り返し言われたら、疲れるのも無理もないと承知しています。今、私たちに必要なのは、さらなる挑戦かもしれません。現在、ポリオ根絶キャンペーンに寄付しているロータリー会員は約12人に1人に過ぎず、毎年寄付しているクラブも5分の1を下回っています。

最近、世界の主要都市でポリオが発生したことで、この恐ろしい病の根絶に再び注目が集まっています。根絶が実現した暁には、ロータリーは大きな歴史的称賛を受けるに値します。

ですから、各年度に何をすべきかではなく、それを超えて考え、できるだけ早く実現するために必要なあらゆるリソースを私たちが提供すべき時が来ています。新たな緊急感を生み出し、世界の子どもを脅かす流行がさらに発生する前にポリオを根絶できるという希望を生み出すために、皆さんの力が必要です。ロータリーの夢を現実のものとするために、皆さんの力が必要です。

ポリオワクチンの開発者であるジョナス・ソーク博士の次の賢明な言葉に、耳を傾ける必要があります：「希望は、夢を現実にしたいと強く願う人たちの夢、創造力、そして勇気の中にあります」。この言葉は、私たちのすべての活動にとって意味があり、ロータリー行動計画のあらゆる側面に当てはまります。この行動計画は、希望を生み出し、変化に必要な知識と勇気をロータリー会員に与えるものです。これを成し遂げるには、

- 既知の成果と実証された証拠に基づいて奉仕プロジェクトを立案する方法について会員に話す必要があります。
- 互いに、そして私たちが奉仕するすべての人とオープンで、インクルーシブで、思いやりのある心をもって接しましょう。
- 世代や国境を超えて活動し、関係を築くためのあらゆる機会を探し求めてください。
- 世界に持続可能な変化を生む新しいアイデアや視点を、進んで受け入れてください。

そのために、ロータリー行動計画の目標においてほかのロータリアンと協力していただけることを願っています。なぜなら、そうするのがリーダーシップにおける継続の最良の手本であり、ロータリーのこれまでの最良の部分の土台としてさらに素晴らしいものを生み出すことだからです。

行動計画のうち、皆さん全員に既に暗記してほしいと思う部分があります。それはこのビジョン声明です：「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」。行動計画を受け入れ、実行するための現実的な方法をクラブに提供することこそが、地域社会で持続可能な変化を生む最善の方法です。

ここで話の焦点を、世界と自分自身の中に持続可能な変化を生むという、ビジョン声明の二つの要素に当てたいと思います。そのために、これらのビジョンを実現させる二つの具体的で有望な方法に重点を置きたいと考えています。

一つは、平和にさらなる主眼を置くことです。ロータリーを創始し、築いてきた先人たちは、ロシアが始めた残忍な戦争に直面するウクライナの人びとのために過去1年間に私たちが行ってきた懸命な支援活動を、きっと誇りに思うでしょう。

過去に何度もそうしてきたように、ロータリーは歴史の呼びかけに応え、人道支援を最優先してきました。惜しみなく寄付し、仲間を一心にサポートし、ウクライナの人びとから尊敬を集めてきました。ウクライナで大勢が入会し続けていることは、入会と会員の参加促進について大切なことを示唆しています。しかし、ウクライナ人にとってもロシア人にとっても、平和が実現するまでは本当の安らぎは訪れないことは明らかです。同じことが、イエメン、アフガニスタン、シリア、そして世界のほかの数十の紛争地域にも当てはまります。

平和とは、希望が根づくための土壌です。

人びとの間に新しいつながりを築き、共通点を求めて新しい機会を見つけるたびに、この土壌が耕されます。これからの1年間、私たちはバーチャルな国際交流を導入します。これについては、今週後半にお知らせします。

ロータリーでは、平和は受動的な夢ではなく、懸命な活動、築かれた信頼、そしてしばしば難しい対話の結果として生まれるものです。平和は粘り強く、勇敢に実践しなければなりません。人類が立てることのできる最も勇敢な目標は、平和の追求です。ロータリーでは、すべての重点分野にわたる全活動が、希望を築く一助となり、それによって平和と償いが可能となります。

2006年、私はタイのバーン・タリングチャン村を訪れました。そこでは、2004年末の津波の後で、ロータリー会員が新しい家や集会場、保育所、医療施設の建設にあたっていました。そこで、ある女性が私に近寄ってきました。悲劇に直面した彼女は、やつれた様子でした。その女性は、私に美しい貝殻をくれました。

この貝殻は彼女が30年以上持ち続けていたものだと言います。数少ない所持品の一つだったこの貝殻を受け取ることを、最初はためらいました。しかし彼女は、ロータリーがしてくれたことへの感謝のしるしとして受け取ってほしいと言いました。後日、私は再びその女性に会い、彼女が津波で夫、娘、息子を失ったことを知りました。津波がすべてを奪ったのです。家族、家、生計を失い、そして何よりも、生き続ける希望と理由を失いました。しかし彼女は、地域社会を建て直すロータリーの活動のおかげで前向きな気持ちを取り戻し、希望が与えられたと言いました。

これは美しい貝殻です。私が次年度のテーマとその意味を検討していたとき、この貝殻だけでなく、存命するスコットランドの最も偉大なアーティストの一人で、Jolomoとしても知られるジョン・ロウリー・モリソンさんがよく使用する色にも引き付けられました。私は長年、彼の作品を愛し、収集してきました。ネクタイとスカーフの色を選んでいたとき、後ろのスクリーンでご覧いただけるように、そこに世界の色を反映させ、さらに重要なこととして、次年度にロータリーが注力すべ

きことを反映させたいと思いました。

タイの女性との思い出とこれらの色から、私は、今私たちが何をなすべきか、どんな行動を呼びかけるべきか、テーマは何であるべきかに気づきました。そこで、2023-24年度テーマは「世界に希望を生み出そう」であることをここにお知らせします。

世界に希望を生み出そう。これが、ロータリーが世界に変化をもたらす方法です。私たちは、一つずつ新たな希望を生み出しています。このテーマはまた、自分自身の中で同様の変化を生むのを促す方法を説明するものでもあります。なぜなら、地球上の多くの人にとって、希望を失う理由は物質的な貧困だけではないからです。私たちは皆、自分たちの幸せを脅かす課題に直面しています。平和の実践に大きな勇気が必要であるのと同じように、誰かに助けを求めたり、助けを必要としていることを認めたりすることも勇気ある行動です。

新型コロナウイルス流行の結果として、これまで以上に多くの人々が傷ついています。多くの人々が身近な人を失ったり、社会的つながりを断たれたりしています。分裂が広がり、つながる機会が失われています。最も傷ついている世代の一つが、教育や対人スキルを身につける機会が妨げられた子どもや若者です。さらに悪いことに、世界の多くの地域では、助けを求めること、特にメンタルヘルスの助けを求めることは弱さであると考えられています。しかし、真実から目をそむけることはできません。自分の弱さを認め、すべての答えを知っているわけではないと認めるのは、勇気が要ることです。

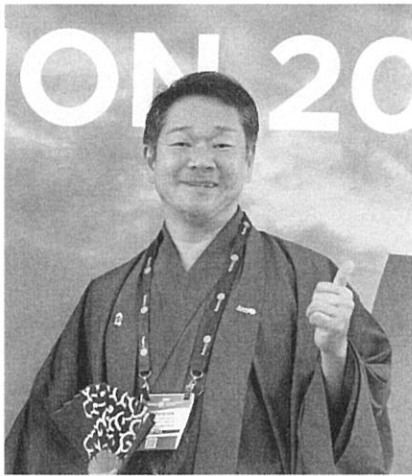
助けを求めることは勇気ある行動であり、幸せへの道を求めることは、さらに勇気が要ることです。

今週の後半、私がメンタルヘルスのトピックを重視する理由をご説明します。次年度、そして願わくばそれ以降も、ロータリーの会員だけでなく地域社会の人びとのためにメンタルヘルスのシステムを改善するいくつかのステップについて話をお聞きいただきます。私は、ロータリーが会員と奉仕を受ける人の両方を支える組織として知られるようになってほしいと思います。メンタルヘルスの専門家なら誰もが口をそろえてこう言うでしょう。ほかの人を助けることで、本質的に自分自身が助けられるのだ、と。

ほかの人を助けることで、ストレスが軽減され、気分がよくなり、私たち自身のメンタルヘルスと幸せのためにもなることが、圧倒的な証拠で示されています。その中で培われる友情は、素晴らしい連帯意識と仲間意識を育み、それ自体がメンタルヘルスと幸せに欠かせない要素となります。

ですから、次年度の私たちの計画は、世界に平和にもたらし、紛争の影響を受けた人びとを癒すこと、そして、私たち自身の内面的な闘いと向き合うためにお互いと地域社会を支え、助けを求めることに対する社会的な偏見をなくすことです。

これらの活動すべてにおける目標は、破壊的な紛争から世界が立ち直れるように、希望を取り戻すことです。そうすれば、私たち自身のために持続可能な変化をもたらすことが可能となります。ロータリーは、平和、機会、生きる価値ある未来の土台を築いています。私たちが得意とすることを継続すると同時に、変化に対してオープンで前向きになり、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和で、より希望のある世界を築く手助けができます。あらゆる地域からのロータリーのリーダーである皆さんに、世界に希望を生み出すよう、心からお願い申し上げます。



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー第2620地区

2023～2024年度 ガバナー 中村 皇 積

3年ぶりに、世界のガバナーエレクトが一堂に会する国際協議会が米国オーランドで開かれました。感動と歓喜、そして勇気をいただいた、あつという間の5日間でした。国際協議会を通じて2つのことを体感しました。

一つは、Rotaryの国際性です。ウガンダ、インド、シンガポール、ブラジル、アメリカ、台湾、オランダ、ペルー…改めて、私たちは日本に住むけれど、心から平和を願う世界の一員なのだと感じました。私たちは、“Rotary”を共通の言葉にすぐに結び合えます。

もう一つは、Rotaryはよりオープンな居場所へと前進しているということです。メインセッションでは、始まる直前まで往年のディスコソングやポピュラーミュージックに併せて歌い、踊り合いました。

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

本年度、ゴードン会長は、ビジョンに基づく行動とその成果を称え、これをさらに大きなインパクトにつなげていくためには、継続が重要であると呼びかけました。

継続とは、これまでのリーダーのアイデアや取り組みを前進させることと整理されます。思考を止めて、ただ同じことを続けることではありません。これまでのリーダーがそうであったように、社会の変化に合わせ、そのニーズに応えましょう。私たちが取り組んだ継続の成果として以下があります。これらの成果は、更に前進させインパクトを導かねばなりません。

Elevate Rotaract

世界のローターアクトクラブは、ロータリークラブのパートナーとしてだけでなく、Rotary全体のリーダーシップを取り始めています。ローターアクトは、私たちの行動計画の担い手として、持ち前の行動力、柔軟な発想、社会の男女比を反映する多角的な視点が期待されています。地区内外を問わず、世界のローターアクトクラブと協働し、希望を生み出しましょう。

女兒と女性のエンパワメント

協議会では、エンパワメントされた女兒がエンパワメントされた成人女性に育ち、次の女兒のために就学資金が彼女のポケットマネーから提供され、希望をもたらしたstoryが紹介されました。

Rotaryのエンパワメントとは、それぞれが本来持っている能力、秘めている才能を遮るモノを取り払うことと整理されています。私たちの地域にも一人働きながら懸命にお子さんを育てている方

がたくさんおいでです。私たちは何ができるでしょうか。

Diversity , Equity , and Inclusion (多様性・公平さ・インクルージョン)

中核的価値観に根ざす DEI は、皆さまの取り組みと認識向上を経て、手続要覧【ロータリーの基本理念】に取められました。ゴードン会長は、単に会員を増やす、女性会員の比率を上げるのではなく、居心地と配慮に満ちた場にしようと強調されています。DEI を、人を集めるための道具、人を留まらせるためのツールではなく、私たちそのものを映し出す文化にしたいという願いです。

ロータリーは、人と人の間柄で成り立っています。人と人で入会し、人と人で留まり、人と人で去っていくものです。DEIの行動規範を皆で話し合い、居心地と配慮に満ちたクラブ文化を育みましょう。

END POLIO ポリオのない世界を

二人の日本人ロータリアンがインドに赴き、ポリオの惨状を知り、国際ロータリーに報告したことがきっかけとなり、1978年東京での国際大会にて当時の3日プログラム第1号として始めたポリオの根絶活動は、今が最後の正念場です。

今、この取り組みを諦めてしまうと再び、世界で毎年20万人の子の未来が断たれると聞きます。その中には私達の子、孫も含まれます。

日本ではポータルサイト World Polio Day Japanが開設されました。ともに学び、アイデアを共有し、世界の子どもたちに希望を生み出しましょう。

クラブビジョンと行動計画

希望は夢と想像力の中に、そして夢を実現したいと強く願う勇気の中にある

ポリオワクチンを開発したジョナス・ソーク博士の言葉は、私たちの行動計画に当てはまります。希望を生み出し、変化に必要な知識と勇気を与えてくれる行動計画を皆で協力して推進することはリーダーシップにおける最良の継続に他なりません。

ビジョンなき行動は浪費である。行動なきビジョンは単なる夢である。ビジョンある行動は世界に希望をもたらす(1996-97 ルイス・ビセンテ・ジアイ氏)

私たちに、社会の期待に応える力があり、奉仕する意欲もあります。

Rotaryを、クラブを良くしたいまごころがあります。クラブのビジョンを共有し、中期的なプランを立て世界に希望を生み出そうではありませんか。

世界に希望を生み出す二つの平和

私たちが共有するビジョンには2つの視点が含まれています。

ゴードン会長は、この二つの視点から”平和“への取り組みを呼びかけられました。

(世界で、地域社会で)

ウクライナ、スーダン、パキスタントルコ・・・世界で平和を脅かす事象が後を断ちません。

私は、国際協議会で平和の鐘に思いを馳せました。

この鐘は、1954年に平和への願いを込めて世界中の子どもたちから集めたコインを鑄造して国際連合に寄贈されたものです。

世界に出かけて良いことをできる社会環境になってきました。そして、日本に居ても世界に向けて出来ることはあるはずです。

私たちが暮らす山梨・静岡でも希望を生み出そうではありませんか。
今から100年前の決議23-34にヒントがあります。

地域社会が本当に必要としていること

皆さんの地域におなかと心を空かせているお子さんはいませんか？

DVから逃れた子を保護する施設はありませんか？

不慣れな日本で疲れてしまっている方はいませんか？

自分らしく生きられない方はいませんか？

一人寂しく暮らしているお年寄りはいませんか？

地域社会に希望を生み出すことは、私たちにも希望を生み出します。互いに高め合い、感動し、最も多く報われます。

社会が本当に必要とすることに応えることで、社会はRotaryを本当に必要な存在と敬意をもって見るでしょう。その一員になりたいと思うでしょう。

世界に希望を生み出すことはRotaryにも希望を生み出します。

(自分自身の中で)

二つ目の平和は【自分自身の中の平和】であるメンタルヘルス、すなわち誰にとっても大切な心のケアです。

Covid-19や戦争、社会の分断と産業構造の変化は【混迷の世紀】と言われています。

こうしてZOOMやPDFを駆使する便利な世の中になりましたが、こうした革新にストレスを感じる方もおいででしょう。

私生活では、ご家族のお世話とりわけ介護という、寂しさや、切なさを感じる恩返しに追われている方もおいでと思います。

また、年齢を重ねることは、素晴らしい体験を積む一方で、老いというストレスも伴います。クラブにおいても同様です。人と人の間柄、人間関係で思い悩む方は近くにいませんか？そのような方は沈黙の中にいますからすぐには気づかない時もあります。

私たちは常に、内面に【何か】を抱えています。

ロータリーの心をあなたの住むところ、私たちの世界、そこに住むすべての人びとに

(1997-98 グレン W. キンロス氏)

まごころを添えたFellowshipは、私たちの内面に平和と希望を生み出してくれます。

世界に希望を生み出そう CREATE HOPE in the WORLD

まごころは、平和への招待状であり、世界への、自分自身への癒しの証でもあります。

私たちは、優しい人である人生を選択しました。

これまでのリーダーのアイデアや取り組みを継続・前進させて世界に希望を生み出しましょう。

希望の先には笑顔が見えます。

ロータリークラブ、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、学友皆さまの行動がみんなの笑顔につながることを楽しみにしています。

ロータリーの 行動計画について話そう

「世界を変える行動人」から成るロータリー。その未来に向けた大胆な計画が立てられました！

この用語解説は、ロータリーの全会員が声をひとつにして同じ言葉で目標について語り、一体となって前進し行動するための参照資料です。

ビジョン

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」

行動計画

ロータリーの5カ年戦略計画の名称。4つの戦略的優先事項と14の目的を含む。

参加者

ロータリーの全会員およびロータリーの活動に携わる人びと

戦略的優先事項

より大きなインパクトをもたらす

奉仕プロジェクトのデータを定義し、測定し、確認し、記録することで、活動のインパクトを測り、プロジェクトの質を高め、持続可能な変化を生むこと。

参加者の基盤を広げる

多様な参加者を惹きつけ、これらの参加者がひとつになって行動するための新しい参加モデルを開発すること。

参加者の積極的なかかわりを促す

参加者にインスピレーションを与える新しい方法を創出し、参加しつづけたいという気持ちを起こすような価値ある体験を提供すること。

適応力を高める

ロータリーの運営・ガバナンス構造を効率化し、その柔軟性と効果を高め、より良くロータリーを表すものとする。

目的

行動計画によって達成したい具体的な事柄

イニシアチブ

各目的を達成するための実行可能な手段。

戦略計画委員会による監督の下、事務局がイニシアチブ完遂の責任を担う。

投入リソース

プログラムに投入するリソース (例：識字プログラムで使用する資料)

結果

プログラムの即時的な結果 (例：識字プログラムを修了した人の数)

成果

プログラムの短期的・中期的な結果 (例：識字プログラムを通じて読む能力が身についた人の数)

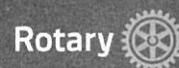
インパクト

プログラムの長期的な効果または最終的な結果 (例：地域社会での教育成果における変化)

全員参加で前進しよう： my.rotary.org/ja/strategicplan



ロータリー行動計画



私たちは世界で、地域社会で
そして自分自身の中で
持続可能な良い変化を生むために
人びとが手を取り合って
行動する世界を目指しています

ポリオ根絶まであと一步のところまできたロータリーは、次なる課題に取り組む心構えができています。より多くの仲間を迎え入れ、より大きなインパクトをもたらし、世界に変化を生み出すための新たなビジョンの実現に向けて、行動を起こす時が来ています。国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを実現するため、今後数年の活動を方向づける四つの優先事項が定められました。

より大きな
インパクト
をもたらす

- ポリオを根絶し、残された遺産を活用する
- ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる
- 活動成果を挙げ、それを測る能力を高める

参加者の
基盤を
広げる

- 会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する
- ロータリー参加の新しい道筋を創り出す
- ロータリーの開放性とアピール力を高める
- インパクトとブランドに対する認知を築く

参加者の積極的な
かかわりを
促す

- クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する
- 価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する
- 個人的/職業的なつながりを築く新たな機会を提供する
- リーダーシップ育成およびスキル研修の機会を提供する

適応力を
高める

- 研究と革新、およびリスクをいとわない文化を築く
- ガバナンス、構造、プロセスを合理化する
- 意思決定におけるより多様な視点を助長するために、ガバナンスを見直す

ロータリーの中核的価値観

今日の世界は、1905年の世界と同じではありません。人口動態が変わり、変化のスピードが加速し、テクノロジーによってつながりや奉仕の新たな機会が生まれています。不変なのは、ロータリーを定義づける下記の価値観に対するニーズです。

親睦
高潔性
多様性
奉仕
リーダーシップ

過去を敬い、未来を見据えながら、私たちは進化を遂げ、ロータリーを時代に即した組織とするだけでなく、繁栄させることができます。

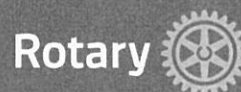


rotary.org/actionplan

2023～24年度 目標

ロータリーのビジョン声明

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」



優先事項1「より大きなインパクトをもたらす」の目標

1. ポリオを根絶し、ロータリーの役割を強調する。
2. ロータリー財団への寄付を行うクラブとロータリー会員の総数を増やすとともに、年次基金とポリオプラスへの寄付を増やし、2025年までに恒久基金を20億2,500万ドルに成長させる。
3. 特にロータリーの重点分野においてクラブ、地区、国際プログラムとプロジェクトが成果を上げられるようにし、その成果を測定する。

優先事項2「参加者の基盤を広げる」の目標

1. 既存のパートナーシップを強化し、新たなパートナーシップを築くことで、ロータリーの国際的な立場を向上させる。
2. 革新的なクラブや参加を促す経路を確立し、発展させる。
3. ロータリーとロータリー会員は世界を変える行動人であるという認識と理解を高める。

優先事項3「参加者の積極的なかわりを促す」の目標

1. 個人的成長、リーダーシップ開発、奉仕、ネットワークづくりの機会を通じて、ロータリーの中核的価値観を支える会員参加促進の手段を強化する。
2. 入会后1年以内に退会する新会員の数を減らす。
3. 特にロータリークラブ、ローターアクトクラブの参加者の連携を強める。
4. クラブ、リーダーシップ、およびロータリーファミリー全体で、多様性、公平さ、インクルージョンへのコミットメントを強化する。

優先事項4「適応力を高める」の目標

1. ロータリーのプログラムとロータリーが提供する体験を見直し、その妥当性と効果を確実にする。
2. バーチャルでのつながりの活用を支援・奨励することで、対面式の会合、研修、ファンドレイジング、奉仕プロジェクトの効果を最大限にする。
3. ロータリーの奉仕提供およびボランティアリーダーシップの構成を継続的に見直し、効果を高め、責務および説明責任の所在をより明確にする。

戦略的優先事項にかかる地区目標・支援メニュー（案）

PDF版にはリンクが張られており動画をご覧いただけます
このほかにも各地区委員会から支援メニューがあります

より大きな
インパクト
をもたらす

参加者の
基盤を
広げる

参加者の積極的な
かかわりを
促す

適応力を
高める

- **社会が本当に必要としていることに応え、高め合おう**
 - ▶ 平和に向けた行動を起こそう — グループ合同奉仕事業
 - ▶ 個人でもみんなでも行動しよう — Rotary at Workカレンダー
 - ▶ 地区エンドポリオキャンペーン — [古着deワクチン](#)
- **ロータリー財団のプログラムに参加しよう**
 - ▶ 新しい地区補助金配分を活用しよう
 - ▶ [国際奉仕](#)のプラットフォームを活用しよう — 地区国際奉仕チーム
 - ▶ 国際奉仕同行ツアーに参加しよう
- **R財団への支援を通じ世界のプロジェクトの一部になろう**
 - ▶ 年次基金寄付 US150ドル / 年・人
 - ▶ [ポリオプラス基金寄付](#) US 30ドル / 年・人
 - ▶ ご寄付にもMy Rotaryを活用しよう
 - ▶ 寄付表彰にガバナーをお呼びください — ガバナー派遣要請
 - ▶ [ロータリーカード](#) で世界にポリオワクチンを届けよう👑
- **人を育て未来を創るロータリー米山記念奨学に参加しよう**
 - ▶ [もっと知ろう](#) — 面接官拡充・クラブ支援制度
 - ▶ 期間終了後も"まごころを添えよう" — ホームカミング制度・学友会
 - ▶ みんなで架け橋になろう普通寄付¥4,000・特別寄付¥12,000以上/年・人
 - ▶ 表彰にガバナーをお呼びください — ガバナー派遣要請
- **ロータリーと私たちのストーリーを伝えよう**
 - ▶ SNSで伝えよう — #ハッシュタグキャンペーン👑
 - ▶ インターアクト / 事業所 / 例会etc. ロータリーの友を活用しよう！
 - ▶ [ブランドリソースセンター](#)を活用しよう
- **地区3,000人のアソシエーションへ：会員基盤を強化しよう**
 - ▶ [衛星クラブ（ファーム型）](#)を活用しよう
 - ▶ クラブの適正人数を設定し、[増強の王道](#)を実践しよう
 - ▶ 外の声（学友・地区委員会）の声も聞いてみよう — [オーダーメイド増強](#)
 - ▶ [インタラクティブ](#)にアイデアを交換しよう — [会員増強セミナー](#)
 - ▶ [女性の声](#)に耳を傾けよう — [女性未来Design](#)セミナー
- **新会員を輪の中に迎えよう**
 - ▶ [感動の入会式](#)にガバナーをお呼びください — ガバナー派遣要請
 - ▶ 新会員を知り、クラブへの愛着を提供しよう — [新会員プロジェクト](#)
- **期待以上のロータリー体験を満喫しよう**
 - ▶ [RLIでつながろう](#)（パート1～3 On Zoom・卒後コースin 地区大会）
 - ▶ 第52回ロータリー研究会@神戸に参加しよう
 - ▶ [新会員ステップアップミーティング](#) — 出会の日
- **My Rotaryでスキルアップしよう**
 - ▶ [ラーニングセンター](#)スコア300以上を獲得しよう👑
- **メンタルヘルスについて話し合おう・取り組もう**

ロータリーの多様性、公平さ、インクルージョンの取り組み



ロータリーで私たちは、持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界というビジョンの実現には、多様性があり、公平で、インクルーシブ（包摂的）な文化を培うことが不可欠であると理解しています。

私たちは多様性を重んじ、すべての背景、年齢、民族、人種、肌の色、障害、学習スタイル、宗教、信条、社会経済的立場、文化、婚姻状況、使用言語、性別、性的指向、ジェンダー自認だけでなく、異なるアイデア、考え、価値観、信念を持つ人びとによる貢献を大切にします。

ロータリーへの入会、参加、リーダーシップの機会といった面で、歴史的に特定のグループの人びとが障壁に直面していたという点を認識し、すべての人が成功のためのリソース、機会、ネットワーク、支援への必要なアクセスを得られるよう、地域社会でのパートナーシップも含め、ロータリーのあらゆる側面で公平さを促進していくことに私たちは全力を注ぎます。

私たちは、すべての人が目に見える、または目に見えない本質的に独自の資質を備えていると信じています。また、自分が大切にされているとすべての人が感じ、帰属意識を持てるようなインクルーシブな文化を築くことに尽力します。

高潔性というロータリーの価値観に従い、DEI（多様性、公平さ、インクルージョン）にいたる旅路において組織として自分たちがどこにいるのかを正直かつ透明性をもって見据えるとともに、これからも学び、向上し続けていくことに全力を尽くします。

行動規範

ロータリーの中核的価値観：親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ

この行動規範は、ロータリーの中核的価値観を反映しており、世界のほぼすべての国からの、100以上の異なる言語のロータリアンやローターアクターの責務を説明しています。ロータリーはこの規範を守り、組織の成長とともにこの規範を発展させていくことに真摯に取り組んでいます。

中核的価値観と同じく、ロータリアンとローターアクターが、互いに、そしてロータリープログラム参加者、学友、プロジェクトのパートナー、地域社会の人びとと接する際に、この行動規範を身をもって示すことが求められます。本行動規範は、すべてのクラブ、地区、ゾーン、国際ロータリーの会議、研修、行事、そのほか会員がロータリーを代表する場、My ROTARY、ソーシャルメディアに適用されます。

期待事項

クラブ会員、そのほかロータリープログラムなどの参加者、学友、プロジェクトパートナー、ロータリー代表者は、この行動規範を守ること、思いやりを持つこと、すべての人が尊重され重んじられる協力的でインクルーシブ、前向きで健全な環境づくりに貢献することを期待されます。

他者を尊重する言葉を使う

- 初対面の人には自己紹介をし、希望する人称代名詞 (he/him/his, she/her/hers, they/them/theirs) など、自分を指す際にどのような言葉が使われることを望むかを説明する。人の呼び方は、言いやすいニックネームではなく、本人が希望する名前と呼ぶ。
- 大勢のグループの前で話す際には、ジェンダーの前提を避けるために、中性的な言葉を使う。
- 相手への理解を深めるために、アクティブリスニング（積極的傾聴）を実践する。
- 言葉の使い方を意識し、地域にあわせて順応させる。ある言葉遣いが、文化によって容認される場合もあれば、容認されない場合もある。
- 文化によって翻訳不可能な俗語・隠語や慣用句の使用を避けたり、その意味を丁寧に説明したりすることで、ロータリーの多様な文化と言語を共有する。
- わかりやすく話し、すべての人が理解できない可能性のある略語や専門用語は避ける。
- 相手の文化的背景、信仰、性的指向、ジェンダー、その他の特性に関心がある場合には、こうした情報を共有することに抵抗がないかどうかを尋ねる。そのトピックが会話の内容と関連がない場合、尋ねるのを控える。
- 世代間の対話を促す雰囲気を助長し、人を年齢で言い表すのを避ける。

サポートを示す

- 他者の味方・擁護者となり、必要だと思われる場合には介入する心構えをもつ。
- 不適切な行為を見たり聞いたりした場合、その影響を受けた人をサポートする形でその行為に対処する。
- ロータリー会員としてこの行動規範を守り、これに沿った文化をクラブで築き、問題が起きた場合はこれに対処する。

温かく迎え開放的な環境を助長する

- バリアフリー対策ができていない会場、同時通訳、字幕、および／または筆記、そのほかのリソースを必要に応じて提供することによって、直接対面式またはオンラインで実施するいかなる会合、行事、活動にも、すべての会員と参加者が全面的に参加できるようにする。
- クラブやプログラムの慣習を見直し、特定のグループに不快感を与えたり特定のグループを疎外したりするおそれのある活動を停止または変更する。

- 温かく迎える環境をつくり、対話、プロジェクト、行事にすべての人を含める。
- 可能な限り、アイコンタクト、表情、口調、個人空間、ジェスチャー、(体の)姿勢といった非言語的なコミュニケーションに注意を払い、それがいかに人と接する能力や共感する能力に影響するかを意識する。
- さまざまな宗教における重要な日を認識し、それらの慣習に従っている人びとが参加できるように配慮した形で行事や活動の予定を組む。
- さまざまな宗教における重要な日を認識し、それらの慣習に従っている人びとが参加できるように配慮した形で行事や活動の予定を組む。
- クラブと地区でリーダー的役割を担う機会をすべての人に開く。または、地域社会のパートナー団体と関わりあう。

多様性を重んじる

- 障害者に対するクラブでの認識、理解、受容を高める。
- 一つの文化や宗教と関連する奉仕プロジェクトや行事ばかりを実施するのではなく、多様な文化や宗教の行事を祝う。
- 多様性と関連する重要な日を認識し、尊重する。
- 特定の人びとを固定概念にあてはめたり、からかったりすることを避ける。
- 異なるジェンダーを認識し、尊重する。

行動規範にかかわる懸念を報告する

この行動規範に反する行為があったと感じた場合、Eメールでご連絡ください
(DEI.Inquiries@rotary.org)。

成人ハラスメントの問題を報告する

ロータリー章典に従い、ロータリーは現在、会合、行事、活動においてロータリアンまたはローターアクターがかかわるハラスメントの問題を報告するための以下の規定を定めています。

ロータリーは、いかなる形のハラスメントもない環境を維持することに力を注いでいる。ハラスメントとは大まかに定義すると、個人またはグループを、あらゆる特性¹(年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会経済的地位、文化、性別、性的指向、または性自認)に基づいて、言葉であれ身体的であれ、中傷、侮辱、または攻撃する言動を指す。

成人がかかわるハラスメントのいかなる申し立てについても通知を受けた場合、またはハラスメントを受けたと感じた場合、以下のステップに従ってください。

1. 身の安全が脅かされていると感じる場合は、警察に相談する。
2. クラブ役員(クラブ会長または幹事)、地区リーダー(地区ガバナーまたは地区ガバナーエレクト)、あるいはゾーンのリーダー(RI理事)に通知する。
3. 問題について国際ロータリーのクラブ・地区支援室(cds@rotary.org)に報告する。
4. 青少年がかかわるハラスメントまたは虐待の申し立てはすべて、72時間以内に国際ロータリーに報告(youthprotection@rotary.org)しなければならない。

¹ここに挙げられた特性は、ロータリー章典「会合、行事、または活動におけるハラスメントのない環境」からの引用です。ロータリー章典が改訂された場合、この行動規範も改訂されます。